

第 2 回板橋区交通政策基本計画策定委員会における ご意見と事務局回答について

※「太字」は第 2 回策定委員会後に頂戴した意見

1) 計画策定スケジュールについて

No.	意見概要	意見・質疑に対する 事務局からの回答
1.	<p>計画策定の過程で、区民が発言する機会はパブリックコメント以外に設けているか。</p> <p>また、非常に重い計画に思えるため、区の代表者の意見だけでなく、区民と一緒に考えることが必要ではないか。</p> <p>《いわい委員》</p>	<p>策定委員会には、区民の代表（町会連合会、商店街連合会、産業連合会、など）の方や、区民の公募委員にも出席していただいております。一定の意見を計画に反映することができると考えております。</p> <p>また、来年度、パブリックコメント等を実施し、広く区民からの意見収集を図ることを検討しております。</p>
2.	<p>議会には、本計画がいつどのように報告されるのか。</p> <p>《いわい委員》</p>	<p>区議会には、来年春先に、まずは計画骨子(案)を説明する予定です。</p>

2) アンケート調査結果等について

No.	意見概要	意見・質疑に対する 事務局からの回答
3.	<p>駅別の不便な理由は、今後の詳細分析では分かるようになるのか。</p> <p>《いわい委員》</p>	<p>駅別の不便な理由についても集計・分析いたします。</p>
4.	<p>来訪者と区民で「不便と感じる駅」が異なるが、その違いはどこから生じているのか。</p> <p>《五十嵐委員》</p>	<p>区民と来訪者で、利用駅が異なることが一因と考えられます。</p>

5.	<p>「不便だと感じる理由」において、区民の「その他」の具体的な回答内容を教えて欲しい。 《木津委員》</p>	<p>駅別の不便な理由について集計・分析し、さらにその他回答が多い駅については、その内容を精査いたします。</p>
6.	<p>満足度が最も低い(または高い)項目と、重要度が最も低い(または高い)一番の項目は必ずしも一致しないが、この結果を今後の計画でどのように反映するのか。 《いわい委員》</p>	<p>満足度と重要度を掛け合わせて優先順位を考えていく予定です。ただし、満足度・重要度それぞれから明らかになることも考えられるため、必要に応じて、それぞれの考察も反映していきます。</p>
7.	<p>区に求める取り組みの回答の1つである「災害に強い交通環境の実現」について、区民は具体的には何を求めているのか。 《いわい委員》</p>	<p>区民の具体的な回答は十分に得られておりません。しかし、区としては、災害発生時に緊急輸送道路が確保されていることや災害指定病院へのアクセスが円滑であることが必要と考えております。</p>
8.	<p>来訪者は、板橋区に来訪する理由として「魅力的な商店街があるから」と回答する人が多いが、具体的にどの商店街を指しているかが分かると、各駅に特色を持たせることができるのではないかと。 《五十嵐委員》</p>	<p>具体的な商店街名は把握しておりません。しかし、駅毎の特性については、駅毎に現況をまとめて把握することを考えております。</p>
9.	<p>公共交通で重要なのは鉄道であり、東上線や三田線が重要となるが、その間に路線がなく、課題と感じている。その課題を示すための設問がアンケートに反映されていないが、どのように補うのか。 《大島委員》</p>	<p>鉄道路線間の移動に関する課題については、その他の統計データで明示する方向で検討いたします。</p>
10.	<p>駅から一定距離(例：1km)以上離れた地域に関する分析も必要ではないか。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、対応いたします。</p>

	《岡村副委員長》	
11.	<p>本策定委員会以外の会議でも、来訪者の移動の利便性について議論している。横連携しながら論議をしていただきたい。</p> <p>《萱場委員》</p>	<p>ご指摘を踏まえ、対応いたします。</p>
12.	<p>地域区分について、東上線と三田線の線路をはさんだ地域とそれ以外の地域の特性は大きく異なるとも考慮して考えてもらいたい。</p> <p>《佐藤委員》</p>	<p>今回は、多くの区民が鉄道を利用することから、駅勢圏を基に地域区分を検討いたしました。今後、検討する施策に応じて、別の地域区分で考えることが必要になる場合は、別の視点での分析も検討いたします。</p>
13.	<p>バス・タクシーの利用意向において、「利用したことがないからわからない」という回答が多いが、このような方々への対応等は検討していないのか。このうち何割かでもバス・タクシーを利用するようになれば、公共交通の活性化につながる。事業者と連携した活動等で利用PRをしてはどうか。</p> <p>《柳瀬委員》</p>	<p>バス・タクシーの利用意向別の満足度を集計・分析いたします。</p>
14.	<p>バス・タクシーにおいて、来訪者から「サービスが改善された場合は利用したい」との意見が多いが、満足度のグラフを見るとそこまで不満を持っていないように思われるが、「サービスの改善」とは具体的に何か把握しているか。</p> <p>《柳瀬委員》</p>	<p>バス・タクシーの利用意向別の満足度を集計・分析し、求められているサービスの改善内容を検討いたします。</p>

3) 本計画の骨子（案）の概要について

No.	意見概要	意見・質疑に対する事務局からの回答
15.	<p>本計画の骨子案は、来年3月までにどこまで取りまとめるのか。 《岸井委員長》</p>	<p>施策の方向性まで示したいと考えております。</p>
16.	<p>計3回の策定委員会で、骨子案を十分議論できるのか。 《いわい委員》</p>	<p>策定委員会の開催時間中だけでなく、後日意見シートを記入いただくことでご意見を頂戴したいと考えております。さらに、必要に応じて、面会して意見をいただくことも検討しております。</p>
17.	<p>基本理念は「乗って、歩いて、住んでよし 人が主役の交通都市」とあるが、産業の視点はどこに入るのか。 《大島委員》</p>	<p>今後、政策分野別の交通がめざす姿を明示いたします。その際に、産業の視点からめざす姿も明記いたします。</p>
18.	<p>基本理念からは、どのような「まち」を目指すのかを読み取れないので、目指す交通の姿を包括的かつ明確に記載するとよいのではないかと。 《岡村副委員長》</p>	<p>今後、政策分野別の交通がめざす姿を明示するとともに、イメージ図の作成も検討いたします。</p>
19.	<p>参考2のP.1、P.3、P.5において、「基本理念」（例：「人」を主役とした交通）は、どこから導き出された言葉なのか分からない。 《木津委員》</p>	<p>ご指摘を踏まえ、基本理念の説明を修正いたします。</p>
20.	<p>資料3のP.1の「板橋区の交通の基本理念（案）」の図に関して、策定委員会での議論を踏まえてイメージを作成したため、参考にしていただけだったと思う。 《小川委員》</p>	<p>いただいたイメージ図を踏まえて、図の中心の文言を「交通政策」と修正いたします。</p>
21.	<p>骨子案では、現実で目指したいことをより具体的に述べて欲しい。 《萱場委員》</p>	<p>今後、政策分野別の交通がめざす姿を明示することで対応いたします。</p>

22.	<p>基本理念の「人が主役」の視点を基本方針や施策の方向性に活かして、一貫性を持った計画としてもらいたい。</p> <p>《いわい委員》</p>	<p>ご指摘を踏まえ、対応いたします。</p>
23.	<p>基本方針や施策の方向性が明確にならなければ、基本目標のイメージが湧かない。</p> <p>《いわい委員》</p>	<p>骨子(案)において、基本目標・基本方針・施策の方向性について一貫性を持って整理いたします。</p>
24.	<p>基本目標 1 つ 1 つは、最終的に同じことを言っているのではないか。</p> <p>《大島委員》</p>	<p>基本理念や区の交通のめざす姿を踏まえてそれぞれの基本目標を設定しております。そのため、最終的にめざす姿は同じとなります。</p>
25.	<p>現状分析と骨子案を繋ぎ合わせてほしい。</p> <p>《岸井委員長》</p>	<p>ご指摘を踏まえ、対応いたします。</p>
26.	<p>基本目標は一般的な言葉でまとまっているのが、これが本当に板橋区の基本目標なのか。また、基本方針については、板橋区らしい交通政策となるのかという観点で見る必要があると思う。</p> <p>《岸井委員長》</p>	<p>骨子(案)では、区内における交通の課題や区の将来像を踏まえ、基本理念・基本目標、基本方針について一貫性を持って記載することで、区の特性を踏まえた基本目標・基本方針であることを示します。</p>
27.	<p>アンケート結果等を見ても、どれだけ日常生活の利便性が向上するのかという視点の方が区民の関心が高いように感じるため、基本目標 2 が最初に置いたほうがよいのではないか。</p> <p>《いわい委員》</p>	<p>交通サービスに関する目標 2 の前に、交通サービス等の移動の基盤となる交通基盤に関する目標 1 を説明するための順番としております。</p>
28.	<p>基本目標 1 の基本方針 1-2「災害に強いまちをめざした交通基盤の強化」に関して、現状のデータでは課題がわからない。また、災害の事前対策と事後対策の両方の視点が必要ではないか。</p>	<p>骨子(案)では、緊急輸送道路や災害拠点病院の位置と都市計画道路の整備状況を照会し、課題を示します。また、災害の事前対策を検討するにあたり、木造住宅密集地域の位置と都市計画道路の整備状況を照</p>

	《いわい委員》	会し、課題を示します。
29.	<p>基本目標 3 の基本方針 3-1「みんなでつくり、育み、支え合う交通環境の推進や「もてなし」への貢献」について、「みんなでつくり」の部分だけを見ると自助・共助の意味だが、そこに「もてなし」が入ると自分達をもてなすように感じる。区外・海外の方々への「もてなし」とは区別して書いた方がよいと思う。</p> <p>《五十嵐委員》</p>	<p>基本方針 3-1 の説明にあたっては、「もてなし」の対象が区民を含む来訪者であることを明記いたします。</p> <p>なお、基本方針 3-1 は、各主体の協力・連携を図ることに重きを置くことから、「もてなし」という表現は削除し、「みんなでつくり、育み、支えあう交通環境の推進」といたします。</p>
30.	<p>資料 3 の P. 3 に関して、「今回、実施したアンケート調査結果においては、板橋区への来訪者は、交通が改善した場合の来訪意向が 9 割以上と非常に高く、快適な移動環境の実現により、さらなる来訪の促進が期待される」とあるが、アンケート対象者は「月に 1 回程度以上、板橋区を来訪する者」であることに留意し、割り引いて考える必要があると思われる。そのため、さらなる来訪の促進という箇所「リピーターに限定する」などの補足が必要ではないか。</p> <p>《小川委員》</p>	<p>交通が改善した場合の来訪意向は、区の交通の課題に直接関わるデータではないことから、骨子(案)では言及しないことといたします。</p>
31.	<p>資料 3 の P. 2 「目標を実現するための基本方針(案)」において、「基本理念」や「基本理念を踏まえた目標」が子育て・福祉等、9 つの分野と関連するのであれば、「基本方針」は 9 つの分野に紐付けされているべきだと思う。</p> <p>《木津委員》</p>	<p>各基本方針は様々な政策分野に関わることから、紐付けを明記することは難しいと考えております。ただし、9 つの政策分野との関係は意識した上で、基本方針を整理いたします。</p>

32.	<p>自転車で移動できる快適なまちにしたいとあるが、具体的にどのようなにするのか示してもらいたい。国や東京都などからも意見をいただきたい。</p> <p>《萱場委員》</p>	<p>今後、交通のめざす姿や施策案を示すことで対応いたします。</p>
33.	<p>自動車でも移動しなくてもよい交通環境やカーシェアリング等について、板橋区として何を取り入れるか考えていく必要がある。</p> <p>《岸井委員長》</p>	<p>現時点では、公共交通の利便性の向上やカーシェアリングの推進により、自動車に過度に依存することのない交通をめざすことを考えています。</p>
34.	<p>コミュニティバスの検討もして欲しい。</p> <p>《竹内委員》</p>	<p>今後、公共交通サービス水準が相対的に低い地域への対応を検討する予定です。コミュニティバスの導入に限らず、様々な視点から課題の解決策を検討したいと考えております。</p>

4) 将来交通ネットワーク検討の考え方（案）について

No.	意見概要	意見・質疑に対する事務局からの回答
35.	<p>賑わいの創出という言葉が多いが、「賑わい」の定義をまずは明確にする必要があると思う。</p> <p>《いわい委員》</p>	<p>ご指摘を踏まえ、対応いたします。</p>
36.	<p>P.3の将来交通軸案の環状方向について、既に整備されているバスで三田線・東上線を繋ぐことを改めて説明するものなのか。</p> <p>《いわい委員》</p>	<p>将来交通軸の環状方向については、エイトライナー構想を想定して図示しております。</p>
37.	<p>P.3の区外の拠点間移動軸で、西高島平から埼玉県方面に向かっているものがあるが、電車を繋ぎたい</p>	<p>公共交通で区内外の拠点間の移動軸を検討する予定です。社会情勢の変化や近隣区市のまちづくりの</p>

	ということなのか。 《いわい委員》	状況を捉えながら、検討を進めていきたいと考えております。
38.	健康長寿について触れていたが、健康・高齢者関係の部署からも委員に入っていただいているかどうか。 《五十嵐委員》	本委員会の下部組織として、区内の庁内検討会を設置しております。その中で、健康生きがい部からも意見をいただくことで対応しております。

5) 策定委員会専門部会について

No.	意見概要	意見・質疑に対する事務局からの回答
39.	専門部会の位置付けが分かりにくい。 《いわい委員》	本委員会の下部組織として、専門的な意見・助言のもと検討が必要な施策案をテーマに討議を行う会議体です。
40.	障がい者の分野については、別途、専門部会を設ける必要があるのではないかと。 《いわい委員》	本委員会の下部組織として、区内の庁内検討会を設置しております。その中で、福祉部からも意見をいただくことで対応しております。また、必要に応じて既存で設置されている協議会等へのヒアリングの実施も検討いたします。

6) その他について

No.	意見概要	意見・質疑に対する事務局からの回答
41.	シェアサイクルの拠点について図示して欲しい。 《竹内委員》	今後、シェアサイクルに関する施策を検討するにあたり、必要に応じて対応いたします。